

幾何学 I 132 ページ 11 行目のパラグラフの最後と、下から 6 行目のパラグラフについて

$\varepsilon = \min\{\varepsilon^{(i)}\}$  とすると、任意の  $x \in M$  に対し、 $x \in W_i$  となる  $W_i$  をとれば、 $F^i(t, x) = \varphi_i^{-1}(F^{(i)}(t, \varphi_i(x)))$  は曲線  $F_x^i : (-\varepsilon, \varepsilon) \rightarrow M$  で、 $\frac{dF_x^i}{dt}(t) = X(F_x^i(t))$  を満たす。  $x \in W_j$  とすると、 $F_x^j$  も定義されるが、 $F_x^j = F_x^i$  となる。  $M$  はハウスドルフだから、この等式は  $(-\varepsilon, \varepsilon)$  の 0 を含む閉集合上で成立するが、 $(-\varepsilon, \varepsilon)$  で成立するのは、次の議論からわかる。

常微分方程式の解

$$F^{(i)} : (-\varepsilon, \varepsilon) \times \varphi_i(W_i \cap W_j) \rightarrow \varphi_i(V_i \cap V_j),$$

$$F^{(j)} : (-\varepsilon, \varepsilon) \times \varphi_j(W_i \cap W_j) \rightarrow \varphi_j(V_i \cap V_j)$$

を比較する。  $\frac{dF_t^{(i)}}{dt} \circ F_{-t}^{(i)}$  はベクトル場  $X$  の  $\varphi_i(W_i \cap W_j)$  における表示

$$\sum_k \xi_k^{(i)} \frac{\partial}{\partial x_k^{(i)}}$$

を与える。  $(\varphi_j \circ \varphi_i^{-1})_* \frac{dF_t^{(i)}}{dt} \circ F_{-t}^{(i)}$  はベクトル場  $X$  の  $\varphi_j(W_i \cap W_j)$

における表示すなわち  $\sum_\ell \xi_\ell^{(j)} \frac{\partial}{\partial x_\ell^{(j)}}$  と一致している。

$\frac{d}{dt}(\varphi_j \circ \varphi_i^{-1})(F^{(i)}(t, \mathbf{x})) = (\varphi_j \circ \varphi_i^{-1})_* \frac{d}{dt} F^{(i)}(t, \mathbf{x})$  だから、常微分方程式の解の一意性から、 $t$  について、0 を含むある开区間上で  $(\varphi_j \circ \varphi_i^{-1})(F^{(i)}(t, \mathbf{x}))$  は、 $F^{(j)}(t, (\varphi_j \circ \varphi_i^{-1})(\mathbf{x}))$  と一致する。 よって、 $(-\varepsilon, \varepsilon)$  上で  $F_x^j = F_x^i$  となる。